

〔質疑〕給食費実費の徴収金に収入未済があるが、何人に滞納があったのか。

〔答弁〕滞納は平成16年からあり、延べ人数で57人である。

〔質疑〕食物アレルギーの子どもが増えているが、学校給食センターでは、どのような対応をとっているのか。

〔答弁〕現在、給食センターではアレルギーに対応した調理はできないため、アレルギーがあると分かった子どもに対しては、アレルギーンとしてどういったものが含まれているか記載された献立表を家族に渡し、家族と給食センター等の話し合いで給食をこめたり、代替えを自分で持つてくるという対応をしている。

〔質疑〕食物アレルギーのショックを起こした時のため、エピペンの投与の研修を他市町に行つて受けているとのことだが、子どもの安全を考えると、関係者全員に研修等を行うのが適切ではないかと考えるがいかがか。

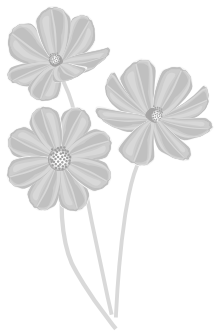
〔答弁〕現在、エピペンを持っている生徒・児童はいない。ただし、いつ何時そのよう

なことがあるかわからないため、9月に山形県でエピペンの実習が行われるので、養護教諭、教員等4名ほどを派遣する予定であり、その後には伝達講習を行つていく予定である。

〔質疑〕博物館構想の今後の見通しについて伺いたい。

〔答弁〕博物館建設構想については建設委員5名をお願いしているが、現在、委員会は開催していない。

博物館に展示する文化的遺産等を保管することに取り組んでおり、震災以降、連絡があつたものは、全て調査・整備しながら保管している。



特別会計

〔質疑〕平成24年度の特定健診の受診率が42.3%、特定保健指導が14.8%となつており、目標値は特定健診受診率が65%、保健指導は45%で大きく下回っているが、この原因は何と分析をされているのか。

〔答弁〕受診していただくように働きかけはしているがなかなか受診率が伸びない状況にある。

すでに医者にかかっている方が多数いることも原因の一つと考えられる。

〔質疑〕介護保険特別会計において、第1号被保険者の約5人に1人が介護認定を受けている。認定を受けるということは介護サービスを受けた状況にあるから認定を受けるのだと思う。

だが、サービス受給者数と認定者の数に差があり、認定を受けてもサービスを受けていない人が結構いると思うが、その状況はどうなっているのか。

〔答弁〕申請に来た方に聞くと、いざとなった時、すぐにサービスを受けられるよう、認定を受けた方が多いと考えられる。

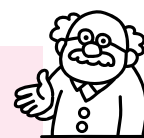
企業会計

〔質疑〕当市の有収率71.4%は他の市町村と比較するとどの程度であるのか。

〔答弁〕有収率については、仙南・仙塩広域水道事務所関係市町の平均を見ると80%になつており、それと比べると当市の有収率は低いと見ている。おもな理由は、大震災に伴う漏水等でもあるのではないかと考えている。

〔質疑〕有収率の低さは大震災によるものとあつたが、大震災の前から有収率は低かつたと思う。

この低い理由は老朽管に関係があるのではないか。
〔答弁〕大震災関連だけではな



有収率とは？

有収率とは、市内の給水区域内に配水している水量と実際に使用し、料金として収入のあつた水量との割合を示しているものです。

〔質疑〕20キロメートルある老朽管の布設替え全体を見通せる計画があるのか。

〔答弁〕平成24年に老朽管の布設替えにはどのくらいかかるのかを試算し、それに基づいて進めている。

ただ、従来のような管ではなく長寿命化に資するような配管にすると相当の金額がかかるので、一定の財源確保などバランスを十分考えながら、毎年その範囲の中で取り組んでいく。